

## は し が き

本書のねらいは次の4点です。

1. 第一義的には、英語の基礎的ライティング能力を養成すること。
2. モデル英文を付け、その音声CDを作成することにより、リーディング教材、リスニング教材の側面も併せ持つ、総合英語教材としての性格を、特徴として有すること。
3. 各ユニットが、トピックと広義の文構造（文法、語法を含む）の新たな組み合わせを具現した、テキストとして統一性の高いものであること。それにより、各ユニットの到達目標を明確にし、いわゆる絞りのきいた授業、効率的な学習を可能にすること。
4. エクササイズと解説をなるべく有機的に関連付け、学習者が利用しやすいレイアウトを心がけること。

以下、上記のねらいについてそれぞれ説明します。

### 1 について

日本の大学生の一般的状況としては、中学高校で、ライティングの指導があまりなされないままの状態です。いわゆる受験のための文法、語法、熟語などは断片的に知ってはいますが、それらは、志望校に合格するために当面の課題であった、入試でよく出される、カッコ穴埋めや、並べ替えの文法、語法、熟語問題に対処するための知識であり、発信とか実際の活用というレベルとはあまり関連性のないもの、というのが大方の実情ではないかと考えられます。

そこで、中学高校で習ってきた構文知識を基礎にして、身近な話題を中心として、実際に使える基本的なライティング能力の養成に役立つテキストを作る、というのが本書を作成するうえでの大きなねらいとなっています。

### 2 について

本書を作成するにあたって最も工夫を要したところは、モデル英文の執筆です。これはnative speakerと念入りな検討を交えながら作成したオリジナル英文です。このモデル英文作成にあたっては以下の点に留意しました。

- a. 学習者にとって文字通り、ライティングのためのモデルとするに足る内容と形式を備えていること。学習者が暗誦するに足る、模範的英文作成を心がける。トピックの選択については、大学生にとって身近なもの、全体的には、現代日本人の（特に若者の）ものの考え方・感じ方と現代の日本事情の一端を外に向けて発信する、という内容を中心とする。

- b. モデル英文のバラエティを持たせるために、3種類の異なったスタイルの英文（三人称のエッセイ、一人称の物語的文章、対話文）を用いる。
- c. モデル英文を録音した音声CDを付属することで、リスニング用英文としても活用できるようにする。
- d. 学習者に、単なる読み流し、聞き流しをさせず、モデル英文を消化吸収させるために、いわゆる‘復文’の手法を一部取り入れる。即ち、モデル英文のkey clausesの日本語訳例をテキストで与えておき、「オリジナル英文→訳文→オリジナル英文」の演習を授業担当の先生、または学習者が必要に応じて適宜行えるようにする。

### 3について

言うまでもなく、ライティングには「何について書くか」というトピック性（例：学生生活、高齢化社会、日本人のものの考え方、etc.）の問題と、「どういう語句を使ってどういう構文で書くか」という、表現語彙や文構造的テーマ（例：口語体か文語体などの文体的な特徴、仮主語もしくは具体主語（名詞句）を用いた構文、無生物主語構文、etc.）の問題があります。学ぶ側にとっての学習効率という観点からはこの両者がうまくかみ合っていることが望ましいことというは自明のことであろうと思います。そこで各ユニットで学習の焦点となる文法・構文上のテーマを設定しました（例：Unit 3 —— 仮定法）。

### 4について

構文に関してのkey clausesについては、学習者の参考になるよう、文法・構文的‘価値判断’を「表現のポイント」という形で付けました。「表現のポイント」は学習者が極力読んでくれるように、簡略で平明な記述を心がけたつもりです。文法語法解説はまとめて書いてしまうといわゆる解説のための解説になってしまい、読者にとってプレッシャーになりがちですので、小出しにして、演習問題と一体化するレイアウトにしました。

学生の皆さんが、このテキストの学習を通して、リスニング、リーディングを含めた英語の総合力が上がり、それによって作文・会話などの、英語の発信力が向上すれば、筆者の意図は達せられたといえます。最後にこのテキストの英文全体をチェックしていただき、数々の有益なアドバイス、コメントを頂いたJames Hill氏に心から感謝の意を表します。

2002年1月

富岡 龍明

## 本書の利用の仕方

1. まず付録CDで当該ユニットのモデル英文を、本文を見ずに数回繰り返して聞く。
2. 次に、モデル英文を数回、音読する（黙読ではなく音読することが大切）。その際 key clauses になっているところは特に注意を払って読む。
3. わからない単語・語句などの意味、用法を辞書で確認する。
4. モデル英文がだいたい頭に入ったら（少なくともkey clausesが口をついて出てくるまでになっている必要がある）、**KEY CLAUSES**の演習をやってみる。ここでは訳例として与えられている日本文から元の英文を組み立ててみる作業を行なう。この作業を通じて、一層深くkey clausesが習得できる。
5. 語彙の確認作業として**WORDS & PHRASES**をやってみる。
6. **EXERCISES**の和文英訳をやってみる。ある程度ヒントが与えられているので、モデル英文を参照しながら、自分なりの英文を組み立ててみる。なるべく辞書などに頼らず書いてみること。
7. ゆとりがあれば**LET'S TRY!**をやってみる。

以上はあくまで本書の使い方の一例です。実際にはこのテキストを使って授業される先生の指示に従ってください。

### ●付属CDについて

巻末に付属しているCDには、本書のモデル英文が全て収録されています。なお、CDの頭出し番号は、各ユニットの番号に対応しています。

---

# TABLE OF CONTENTS

---

<b>UNIT 1</b>	<i>What makes college students work part-time?</i> ..... 8 大学生のアルバイト ◆非人称主語 (impersonal subjects) を使った構文 (1)
<b>UNIT 2</b>	<i>Staying healthy—a Japanese obsession</i> ..... 12 健康志向国民 ◆非人称主語 (impersonal subjects) を使った構文 (2)
<b>UNIT 3</b>	<i>How I wish I were at my first-choice college!</i> ..... 16 当世大学生気質 ◆假定法
<b>UNIT 4</b>	<i>Staying with a family abroad</i> ..... 20 心配なホームステイ ◆発話動詞 (say, tell, talk, speak)
<b>UNIT 5</b>	<i>Japan and America</i> ..... 25 日本人にとってアメリカとは ◆否定詞
<b>UNIT 6</b>	<i>Drinking as part of youth culture</i> ..... 29 酒と大学生 ◆形容詞構文 (1)
<b>UNIT 7</b>	<i>I don't belong here</i> ..... 33 帰国子女のカルチャーショック ◆形容詞構文 (2)
<b>UNIT 8</b>	<i>What's the purpose of work?</i> ..... 37 働きがいとは何か? ◆名詞構文
<b>UNIT 9</b>	<i>The Japanese as half-Asian</i> ..... 41 アジア VS. 日本 ◆時制——過去と過去完了
<b>UNIT 10</b>	<i>Why few Japanese can speak English</i> ..... 45 なぜ英語が話せない? ◆接続詞
<b>UNIT 11</b>	<i>How I wish I could live on my own!</i> ..... 49 当世親子関係 ◆助動詞

<b>UNIT 12</b>	<i>The pros and cons of so-called 'exam English'</i> .....	54
	受験英語の功罪 ◆感覚・認識動詞	
<b>UNIT 13</b>	<i>An aging society</i> .....	59
	高齢化社会の行く末 ◆比較級 (1)	
<b>UNIT 14</b>	<i>Do we have to live in a polluted environment?</i> .....	63
	不便に耐えよう——環境問題 ◆比較級 (2)	
<b>UNIT 15</b>	<i>My view of marriage</i> .....	66
	結婚はちょっと ◆代名詞	
<b>UNIT 16</b>	<i>Is Japan an international society?</i> .....	71
	日本の「国際度」は？ ◆進行形	
<b>UNIT 17</b>	<i>Job prospects for college students</i> .....	75
	大学生の就職難 ◆文修飾副詞	
<b>UNIT 18</b>	<i>A problem with Japan's education system</i> .....	79
	勉強はあとから——教育問題 ◆'when'の2つの用法	
<b>UNIT 19</b>	<i>High school vs. cram school</i> .....	83
	塾か学校か？ ◆使役動詞	
<b>UNIT 20</b>	<i>Why are cars so important?</i> .....	88
	車がそんなに大切？ ◆総合演習	

*What makes college students work part-time?*

◆非人称主語 (impersonal subjects) を使った構文(1)

**MODEL PASSAGE** *third-person essay*

以下の文章をCDで聴いてみましょう。また①～⑥の英文に注意しながら、繰り返し音読してみましょう。

A lot of young Japanese work part-time while they are at college. Waiter (or waitress), shop assistant, and private teacher—these are some of the typical jobs they take. Take Miyuki, a girl student who is working part-time at a discount store. If you asked her ①**what made her decide to take the job**, she'd say she just wanted to earn some pocket money for herself. Her parents 5 are paying her college fees, and ②**this means that she doesn't have to work her way through college**. For most parents, ③**sending children to college is a big financial burden**, while for the students, ④**going to college can be a decision that guarantees them some of the most carefree days of their life**. 10

For students whose parents can't support them, it can be hard: work or starve. An exaggeration? Well, perhaps. But even for those who aren't forced to work, ⑤**earning money can be very tough, even traumatic**.

"Things aren't as easy as you might think", the female student would say, "⑥**Doing this job means having to put up with my boss all day**—and he's 15 probably the most demanding person on the planet." At least her job should teach her that life is never easy.

## KEY CLAUSES

以下の日本語は、MODEL PASSAGEの重要構文①～⑥の和訳です。本文を見ずに、この日本語から元の英文を作り上げる練習をしてみましょう。

- ① どうして彼女が今の仕事をする気になったのか。
- ② これはつまり、彼女は自分で働いて学資を出して大学を卒業する必要がない、ということなのです。
- ③ 子供を大学にやるということは大変な経済的負担です。
- ④ 大学に行くということは学生達に、人生のうちでもっとも気楽な日々を保証してくれる選択（決定）なのです。
- ⑤ お金を稼ぐというのはとてもきびしい、場合によっては精神的にあとをひくものなのです。
- ⑥ この仕事をするということは、私の上司に対していつも我慢してなきゃいけない、ということなのです。

## WORDS & PHRASES

次の日本語の意味に相当する英語を、MODEL PASSAGEの中から抜き出し、書き取ってみましょう。

1. バイトをする \_\_\_\_\_
2. 店員 \_\_\_\_\_
3. 家庭教師 \_\_\_\_\_
4. 大学の授業料 \_\_\_\_\_
5. 経済的負担 \_\_\_\_\_
6. 気楽な \_\_\_\_\_
7. 誇張 \_\_\_\_\_
8. 心に傷を残すような \_\_\_\_\_
9. 要求がきびしい \_\_\_\_\_
10. 我慢する \_\_\_\_\_

## EXERCISES

次の日本語の文を英語に直しなさい。

表現のポイント 例①

タイトルの英文と①の英文のように，whatの次に，make+目的語+原形動詞（または形容詞）の形で，日本語で直訳すれば「何が～を～させたか」となるようなstructureが英語ではよく用いられる。

1. 「ぼくはこのバイトに向いてないよ。」「どうして君はそう考えるんだい。」  
▶ 「～に向いていない」 be not cut out for～
2. 「どうして今のバイトをやめようと決心したの。」「給料が安すぎるからですよ。」  
▶ 「やめる」 quit
3. 「どうしてあなたは家庭教師という仕事に興味を持つようになったのですか。」  
「他のパートに比べて結構お金になるからです。」  
▶ 「家庭教師という仕事」 private teaching (or teaching someone privately)

表現のポイント 例②, ⑥

A means B 「AはBを意味する」のstructureでも，人称主語をとるのと同様（例：I mean it 「俺は本気で言ってるんだ。」），Aの項目としてthis, that, あるいは動詞の～ing形などの非人称主語をとることが珍しくない。このstructureでBの部分は，名詞相当語句（動詞の～ing形，to不定詞も含む）やthat節がくる。

4. 学生であるということは必ずしもヒマだということじゃありません。実際思ったよりずっと忙しいです。  
▶ 「大学生であるということ」 being a college (university) student
5. バイトで忙しいということは勉強する時間があまり取れないということなんです。  
▶ 「バイトで忙しいということ」 being busy with a part-time job
6. このラーメン屋は人使いが荒いから，ここで働くとドット老けるって感じだな。  
▶ 「ラーメン屋」 noodle shop 「人使いが荒い」ここでの仕事(job)は(demanding)と考える。



表現のポイント 序③, ④, ⑤

例えば、「大学に通うのは金がかかる」を英語で表す時、It is expensive to go to collegeのように、いわゆる仮のitを主語として書くこともできるが、Going to college is expensiveのように、具体的に主語を書き表すこともできる（こちらの方が語数も少なくより簡潔）。その場合To go to college...のように、to不定詞を使うよりも、～ingのほうが一般的。

7. 夕方の5時から夜中の2時まで働くのがつらくなってきたよ。このまま続けると体をこわすような気がする。
- ▶ 「夜中」am もしくは in the morning 「つらくなってくる」はbe beginning to tell on someoneなどが使える。「体をこわす」病気になると考える。
8. 自分で稼いで生活する、というのがずいぶん以前からやってみたかったことなんです。やってみると意外におもしろいものです。
- ▶ 「自分で稼いで生活する」living on my own 「ずいぶん～ことなんです」関係詞のwhatを使う。「ずいぶん以前から」for years

**LET'S TRY!**

- A** 'What makes (made) someone V?' の構文を使って10 words以上の英文を書いてみましょう。
- B** '～ing means (meant) ～ing' の構文を使って15 words以上の英文を書いてみましょう。